

新ごみ処理施設の建設について

1. 新施設の概要

(1) 建設地【別紙1】

高山市三福寺町1800番地（資源リサイクルセンター清掃工場東側）

(2) 処理能力（現時点における想定）

96 t / 24時間（48 t × 2炉。災害廃棄物処理量10%を含む）

(3) 完成予定

令和8年3月

2. 今後のスケジュール

【別紙2】のとおり

3. 新施設の整備方針及び今後の対応

(1) 検討委員会の設置

地元の代表者を含む市民や学識経験者による検討委員会を設置します。

(2) 周辺環境への対応

煙突の配置や高さについて配慮し、ダイオキシン類などの有害物質の排出基準を全国の施設の中でもトップクラスの厳しい排出基準とします。

(3) 熱エネルギーの効率的な利用

施設で発生する熱エネルギーを活用した発電などにより、地球温暖化ガスの排出抑制に取り組みます。

(4) 安全・安心な施設

災害発生時や停電時でも、運転が継続できる施設にします。

(5) 環境監視活動

排ガス測定のほか、周辺大気、臭気、土壌、水質、騒音、振動などの環境監視活動について、きめ細かな調査と結果報告を行うとともに、国等の基準値を遵守します。

(6) 施設の運営方法

市の直営施設として適正に職員を配置し、安全稼働に努めます。

(7) ごみ減量化の取り組み

施設へのごみの搬入量や焼却量を減らすため、様々な施策を講じて、ごみの減量化に取り組めます。

4. 高山市ごみ処理施設建設検討委員会の設置

ごみ処理施設建設に係る基本設計の策定に、広く関係者等の意見を取り入れるため学識経験者（技術顧問）、自然環境等に関する有識者、住民の代表、ごみ排出者の代表等で組織する検討委員会を設置します。

(1) 所掌事務

ごみ処理施設建設に係る重要事項の検討
その他委員会において、必要があると認める事項

(2) 組織

【別紙3】のとおり

(3) 検討委員会の進め方

【別紙4】のとおり

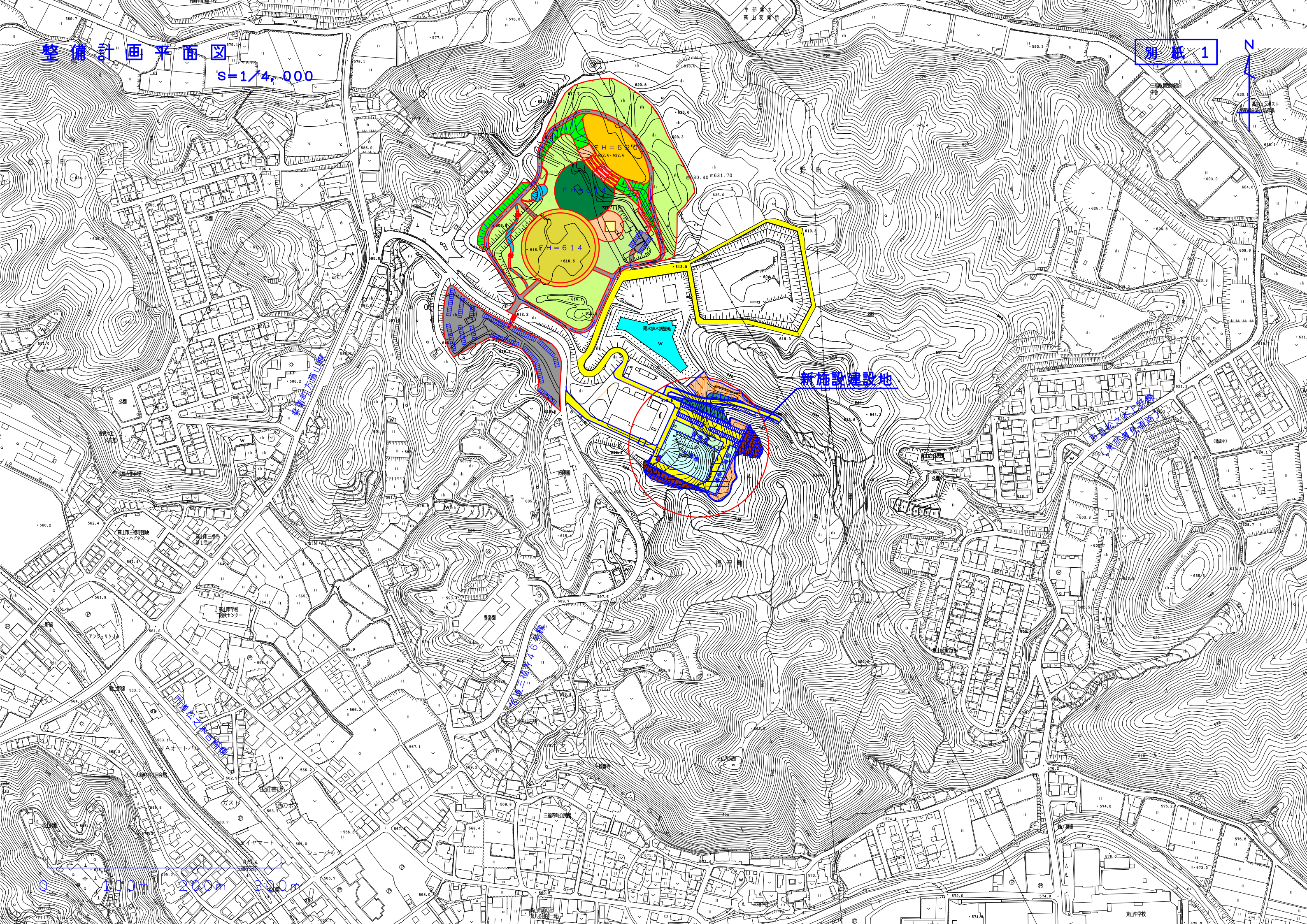
5. 平成31年度のごみの状況報告

【別紙5】のとおり

整備計画平面図

S=1/4,000

別紙 1



H=620
622.6
616.6
H=614

新施設建設地

東基町4通 山崎

山崎通 山崎

山崎通 46号線

山崎通 山崎

0 100m 200m 300m

東山中学校

今後のスケジュールについて

年 度		R2				R3			R4		R5	R6	R7	R8	
年 月		R2.6	R2.9	R2.12	R3.3	R3.4	R3.8	R4.3	R4.4	R5.3	R5.4~R6.3	R6.4~R7.3	R7.4~R8.3	R8.4~R9.3	
建設関係	プラント建設	①基本設計	基本設計												
		②仕様書作成及び業者選定						仕様書作成	業者選定						
		③プラント工事									プラント工事				運用開始
	環境影響調査	④環境への影響分析	環境への影響分析												
	敷地造成	⑤地質調査	地質調査												
		⑥基本設計	基本設計												
		⑦実施設計						実施設計							
		⑧造成工事								業者選定	造成工事				
	用地・地形	⑨測量	測量												
		⑩用地取得						用地取得							
	都市計画	⑪都市計画変更	都市計画の変更に係る手続き												
技術顧問		技術顧問による指導、助言													
検討委員会		検討委員会の開催				*以降、必要に応じて開催									
議 会		協議、報告													
市 民		広報、市民説明会等													
地 元		地元との協議（協定書の締結等）				協定書に基づいた事業の実施等									

組 織

委員 18名以内

区 分	所属等	構成人数
学識経験者	技術顧問	2名
有識者	自然環境、建築、景観、余熱利用等に識見のある者	4名
住民代表	まちづくり協議会の代表 町内会連絡協議会の代表 地元4町内会（三福寺町町内会、下三福寺町町内会、有斐ヶ丘町町内会、東山台町内会）の代表	6名
家庭系ごみ排出者	一般市民（公募）	2名
事業系ごみ排出者	排出事業者	2名
環境衛生関係	廃棄物処理関連事業者	1名
ごみ減量化関係	ごみ減量化に関心のある団体等の代表	1名

委員会は、下記の重要項目による開催のほか、先進地視察などを含め、10回程度の開催を予定
委員会での協議内容等については、随時議会に協議、報告するとともに市民に対して情報提供等を行う。

重要項目	事務局による検討	協議内容	協議結果
①施設規模の決定 (日処理量)	<p>将来のごみ発生量の予測</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口、事業所数、観光客数等の予測 ごみ減量化目標の設定 プラスチックごみ混入率等の設定 災害廃棄物処理量の設定 (必要処理能力の5%~10%見込む) 等 	<p>適正規模の提示</p> <p>(例として)</p> <p>86 t/日 (43 t/日 × 2基 × 24h)</p> <p>∩</p> <p>96 t/日 (48 t/日 × 2基 × 24h)</p>	<p>〇〇 t/日 (◇◇ t/日 × 2基 × 24h)</p>
②焼却方式の決定	<p>本市の可燃ごみの特性把握</p> <p>焼却方式の特性比較</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃焼の安定性、操作性 耐久性、維持管理性 CO2排出量等環境への適合性 イニシャル、ランニングコスト 分別方法、収集体制への影響 焼却灰や残さなどの処理方法 等 	<p>比較表の作成</p> <p>ストーカ方式 流動床方式 ガス化熔融炉方式 等</p> <p>+</p> <p>生ごみ発酵方式</p>	<p>〇〇方式</p>
③排ガス自主規制値等の決定	<p>排ガス自主規制値の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺地域への排ガス拡散濃度計算 排ガス処理設備、機械構成、安定性 等 <p>煙突高の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 航空法上の規制への対応 高さによる排ガス拡散濃度計算 (EX. H=40m、59m、80m、100m) 景観性、視認性 等 	<p>自主規制値の提示</p> <p>ダイオキシン類 塩化水素 窒素酸化物 硫黄酸化物 水銀 ばいじん 等</p> <p>比較表の作成</p> <p>煙突高の比較 (例として)</p> <p>H= 40m H= 59m H= 80m H=100m</p>	<p>各物質の自主規制値 等</p> <p>煙突高 H=〇〇m</p>

○その他、基本設計にあたり、必要に応じて検討委員会に意見聴取を行う項目

エネルギー利用方針に関すること

- 地球温暖化対策への取組み
- 発電能力及び使用可能量
- エネルギーの利用先
(パッカー車、道路融雪、蒸気供給等) 等

施設運営に関すること

- 動線計画
- 渋滞、交通事故対策
- 作業性 等

防災機能に関すること

- 耐震性能
- 豪雨、豪雪対策
- 避難所機能 等

建物意匠等に関すること

- 建物構造
- 高さ、幅、形状、色彩、仕上げ 等

環境学習に関すること

- 展示、映像、体験学習機能 等

V 各種統計表

別紙 5

年度別廃棄物収集・搬入量

人口は各年10月1日現在の住民基本台帳によるものです

単位：t

年度	処理人口	⑥ 市 収 集 分										⑦ 家庭系一般廃棄物	⑧ 事業系一般廃棄物	⑧ 拠点集積所及び集団資源回収	⑨=⑥+⑦+⑧ 一般廃棄物合計	⑩ 産業廃棄物	⑪=⑨+⑩ 総合計	処理の内訳			1人1日家庭ごみ排出量(g/人・日)			
		① 可燃ごみ	② 不燃ごみ	③ 粗大ごみ	④ 資源ごみ				⑤ 土砂・河川ごみ等	その他搬入分	焼却							埋立	資源化	可燃ごみ①	不燃ごみ②+③	資源ごみ④	全体①~⑤	
					びん・ペットボトル	缶	紙製容器	プラスチック製容器																
H22	94,017	0.5%	3.8%	3.0%	△18.0%	△0.7%	△2.1%	△0.8%		985	△0.9%	△2.9%	△1.3%	△1.5%	△10.9%	△1.9%	△1.0%	△4.2%	△5.7%	1.3%	6.5%	△9.1%	△0.4%	
H23	93,666	2.2%	0.9%	△4.4%	△2.0%	△0.7%	△3.0%	△0.9%		981	1.4%	2.3%	△3.0%	1.0%	△6.8%	0.7%	2.0%	1.1%	△2.7%	2.0%	0.0%	△1.3%	1.7%	
H24	92,987	1.1%	△1.7%	12.3%	△2.6%	△8.3%	△2.9%	△1.3%		1,109	0.8%	△1.9%	2.3%	0.3%	△14.1%	△0.2%	0.2%	△0.7%	△6.2%	2.2%	0.0%	△2.5%	1.1%	
H25	92,328	0.2%	1.3%	20.5%	△3.2%	△4.1%	△2.5%	△2.0%		1,263	0.5%	0.5%	△4.7%	△0.3%	△0.5%	△0.3%	△0.1%	6.4%	△2.4%	1.0%	2.0%	△1.3%	0.5%	
H26	91,729	△0.8%	△6.9%	△18.2%	△5.5%	△7.1%	△5.2%	△2.8%		4,656	15.4%	△1.2%	△3.3%	8.2%	23.0%	8.6%	△0.3%	81.7%	△0.0%	0.0%	△6.0%	△3.9%	△1.3%	
H27	90,904	0.5%	6.2%	11.1%	1.8%	△4.6%	△2.0%	△0.3%		1,627	△12.6%	5.8%	△1.1%	△6.5%	△8.9%	△6.6%	2.1%	△40.4%	△0.2%	1.0%	6.4%	0.0%	1.5%	
H28	90,077	△0.6%	△9.1%	△8.8%	△0.3%	1.8%	△4.9%	△1.2%		1,546	△1.8%	△2.7%	△4.1%	△2.4%	△27.5%	△3.2%	△1.2%	△13.1%	△3.0%	0.7%	△8.0%	0.0%	△0.4%	
H29	89,328	0.1%	1.5%	11.0%	1.2%	2.2%	△1.5%	△1.2%		1,655	0.7%	1.2%	△5.1%	0.1%	14.8%	0.5%	1.0%	2.8%	1.0%	0.9%	2.2%	0.0%	1.1%	
H30	88,655	△1.4%	1.9%	7.4%	△2.5%	△5.5%	△2.7%	2.1%		2,606	3.7%	△0.1%	3.1%	2.5%	6.8%	2.6%	△1.7%	29.7%	1.2%	△0.7%	4.3%	0.0%	△0.5%	
H31	87,740	4.4%	△1.3%	△5.7%	△2.7%	△2.3%	△2.8%	0.0%		1,785	△1.3%	0.9%	△2.6%	△0.8%	△10.2%	△1.1%	2.6%	△17.1%	△1.1%	5.2%	△2.0%	△1.4%	4.0%	

※2段書き上段は対前年度増減率

※②欄には、ステーション回収した小型家電を含みます (H26~)

※⑧欄には、民間施設搬入分を含みます